



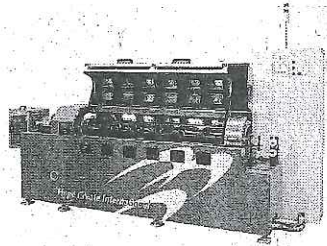
6000 rpm を実現へ

チューブラー型撚線機

HCIで注目されているマシンの一つが、チューブラー型撚線機STF Series (1)と同一Series (2)である。同Series (1)『型式STF-40C、40eB、80D、80eB』は、極細線用の撚線機で銅・銅合金線、ステンレス線向け。主にAWG No.42〜50程度に最適であり、ノートPCや携帯電話端末、フラットパネルなどのLCD接続用極細同軸ケーブル(MFCX)や医療用ワイヤー(9μ程度)のステンレス線などを対象とした機種。

5千〜6・5千rpmの高回転域で安定した低張力と長尺の実現に向けて全体のバランスとパスを十分に研究・解析した結果、製品化したマシンだ。さらに省エネを考慮し、ランニングコストを削減したSTF-40eB、STF-80eBもあり、プレフォーム、ポストフォーム、オーバート装置をオプションで取り付けられる。同STF Series (2)『型式STF-80eC』は最新型で、前部軸受及び後部軸受に磁気軸受を採用し、チューブ

は軸受にビルトインされた7・5kw(自社製)のインバーターモーターでダイレクトに回転させた。主な特色は①専用エアコンプレッサーは不要で、磁気軸受はメンテナンスフリー。②磁気軸受は、270Wの電力でチューブが浮上するため、コンプレッサー空気磁気軸受よりもランニングコストが下がる。③μ単位でチューブの重心を制御し動バランス調整が短時間で済む。



チューブラー型撚線機